

平成26年分年末調整等説明会の開催

給与所得者に係る年末調整等説明会を下記の日程で開催します。説明会では「年末調整のしかた」及び「給与所得の源泉徴収票等の法定調書の作成と提出の手引」などのパンフレットを用いて説明いたしますので、お持ちください。
 ※都合により、指定された会場に出席できない場合には、他の会場に出席することができます。

日	時	会場	対象者
11月19日(水)	10時～11時45分	小山市文化センター大ホール (小山市中央町)	小山市下野市野木町を納税地とする源泉徴収義務者
	14時～15時45分		
11月20日(木)	10時～11時45分	栃木文化会館大ホール (旭町)	栃木市壬生町を納税地とする源泉徴収義務者
	14時～15時45分		

◆問合先 栃木税務署 ☎(22) 0885 (自動音声案内) 本 市民税課 ☎(21) 2265

11月6日は「119番の日」です

119番は、火災・救急・救助などの災害を通報するための専用回線電話です。間違えて119番にかけてしまった時は「間違えました」と、はっきり伝えてください。無言で電話を切られてしまうと「何かあったのでは？」と考え、確認できるまで呼び返しをします。また、「サイレンを止めて来てください」と言う方がいますが、緊急自動車はサイレンを止めて走行することはできません。赤色灯を点け、サイレンを鳴らして走行するよう法律で義務付けられていますので、ご理解をお願いします。消防車両は場所が分からないと出動することができません。119番通報時は、あわてずに、消防車や救急車が向かう住所や近くの日

標物をはっきり伝えるようにしてください。
 「もういいかい 火を消すまでは まあだよ」
 ◇災害情報や休日(日曜、祝祭日)当番医の問合せはテレホンサービス ☎(24) 99999 を利用ください
 ◆問合先 栃木市消防本部 通信指令課 ☎(22) 0119 (音声ガイダンス後6番)

土砂災害に備えて

8月20日に広島市で発生した大規模な土砂災害により甚大な被害が発生しました。この機会に、防災ハザードマップ等により土砂災害警戒区域や避難場所などを再度確認してください。



詳細な情報については市ホームページにも掲載されています。

◆問合先

本 危機管理課 ☎(21) 2551



30 食事の時のことばかけ

最初のひと言はとても大切です。まあ、おいしそう / おなかへったね、いっしょに食べようね / 今日のごはんはなんだろうね。楽しみだね、など。食べることに對する期待と意欲がわくようなことばかけがいいですね。そして、食べ始めたら・・・日頃、どんなことばをかけていますか？
 はやく / こぼさないで / よくかんでね / 手で食べないの / よくモグモグして / はやくのみこんで / はい、これのんで・・・
 ひとつふたつは思い当たりますか？
 食事中必ず言うてほしいのは、「おいしいね」ということば。いっしょに食べている人から「おいしいね」と言われると、自分も「おいしい」と感じ、食もすすみます。「次はどれ食べようか：」「あつこれ食べたことあるよね、おいしいよね：」「など、ともにことばをかわしながら食事の時間を過ごすことは楽しいものです。
 食べる意欲は生きる意欲につながります。元気に楽しく食べる雰囲気づくりは大切です。
 子どもにとっても、大人にとっても。

本 生涯学習課 ☎(21) 2731



「借金が返せなくなったらどうしよう」

国民生活センターの統計によると、全国の消費生活センターに寄せられた多重債務関係の相談は、2009年には8万件近くありましたが2013年には3万件台へと大幅に減少しています。借りましたお金やクレジット利用代金、そのほか約束した支払いが行わなければいけません。しかし、「借金などの返済に追われ、生活費を工面するために無理な働き方をし、体を壊してしまう」、「クレジットカードの現金化など不正な行為を行う」、「ヤミ金業者から借りる」など、さらに事態を悪化させて

しまうこともあります。事態を悪化させず解決するために、早急な相談が必要です。まずは、消費生活センターや無料の弁護士相談等を利用しましょう。債務整理の代表的な方法には「任意整理」「特定調停」「個人再生」「自己破産」があります。どの方法がよいかは、一人ひとりの状況により異なります。債務内容の整理、再認識をした上で、弁護士などの専門家へ相談し、解決をめざしましょう。費用については、日本司法支援助センター(法テラス)の費用立て替え制度(民事法律扶助)が使える場合があります。
 ▼問合先 消費生活センター (入舟庁舎) ☎(23) 8899

平成26年度コミュニティ助成事業報告 活力ある地域づくり助成事業(地域資源活用助成事業)

岩舟町との合併による新しい栃木市の誕生と新市庁舎の開設を記念し、財団法人自治総合センターの助成(宝くじ助成)を受け、4月5日から8月31日まで市役所付近にある巴波川「開運橋」から、下流の「幸来橋」を経て「うずま公園」に至る区域において、鯉や蔵、市無形文化財に指定されている百八灯流しなどの地域資源を活用する「巴波川を活用した開運・幸来活性化プロジェクト」が実施されました。
 春は鯉のぼりの装飾や邦楽コンサートなど「うずまの鯉のぼり」いいこいを開催しました。
 夏は「開運・幸来のあかり」巴波川行灯として、小学生を対象としたあんどんの工作教室や、岩舟町出身の故川島健三郎氏の切り絵作品を貼り付けた行灯の設置、朗読と三味線・語りべと琵琶の演奏などが行われ、巴波川が美しく彩られました。
 ◆問合先 うずま川遊会 開運・幸来活性化プロジェクト事務局 本 商工観光課内 ☎(21) 2374



小学生のあんどん工作教室 うずまの鯉のぼり-いいこい

地域医療 って なあに!??

とちぎメディカルセンター 施設整備について

今回も、一般財団法人とちぎメディカルセンターが実施している新病院の施設整備状況についてのお知らせです。

- 第1病院(仮称) 建設工事について
鉄骨の組立て作業も順調に進んでおり、随分と建物が想像できる光景になってきました。また、看護学生を対象とした現地見学会を開催しました。
- 第2病院(仮称) 第1期整備工事の施工業者について
施工業者が決定し、増築工事(一部改修含む)がスタートしました。
受注者 株式会社フジタ関東支店
工事箇所 現とちぎメディカルセンターとちの木病院(大町39番5号)



市も、昨年度に引き続きまして、現在、第1病院(仮称)の周辺整備工(道路・水道・下水道)を実施しております。近隣の皆様には、大変ご迷惑をお掛けしておりますが、ご協力をお願いします。

本 地域医療対策室 ☎(21) 2336

「とちぎ未来アシスト ネット」について

24,551人

これは、昨年度の学校支援ボランティア活動に参加した延べ人数です。ちなみに一昨年度と比較して、約6,000人も増えていいます。その中には、次のような感想をお持ちの方がたくさんいます。
 ・アシストネットが生き甲斐になっている。
 ・学校や子どもを知るよい機会となっている。
 ・ボランティア同士の交流の場となっている。など

「ボランティア活動」は、してもらう人たちにとって大変ありがたいことですが、行う立場の人にとっても、充実感を持つたり、仲間との連帯意識を高めたり、など様々な利益を得ることがあります。
 そこで、さらに一人でも多くの皆様に地域ぐるみの教育と地域の絆づくりに参加してほしいという願いを、キャッチフレーズに託しました。

ア～あなたも 地域でボランティアを
 シ～知らぬ間に 絆の大輪またひとつ
 ス～すてきな出会いが 次々に
 ト～共に育とう 子どもも大人も
 ネ～願いは “いいまち” “いい学校”
 ッ～次はあなた! あなたの出番
 ト～「とちぎ未来アシストネット」

アシストネットは、学校に多くの地域の方(ボランティア)が入ることに意義があります。
 ◆問合先 本 生涯学習課 ☎(21) 2488